

市民と議会を結ぶ架け橋

No.58

令和元年  
8月発行

# 上野原市 議会だより

6月定例会



特集

うえのはらで頑張る人  
セタナイトバザール  
実行委員会

うえのはらで頑張る人……………	2
閉会中の審査……………	4
定例会で決まった主なこと…	6
会期中の審査……………	8
高校生の議会傍聴……………	9
一般質問……………	10
議決結果一覧……………	15
市民の声……………	16



## うえのはらで頑張る人 vol.11 七タナイトバザール実行委員会



毎年、20号線沿いに、楽しいお店が並ぶ七タナイトバザールが行われています。今年は七つの会場で、それぞれの商店会などが工夫した企画がありました。七タナイトバザールの企画運営の中心となった実行委員会のみなさんにお話を聞きました。

商店街のにぎわいとお客さんへの感謝  
継続するために工夫をしながら

どのように取り組んでいますか

■ 商店街のにぎわいと日頃のお客さんへの感謝のために行っています。



■ 上野原市商工会商業部会の中で実行委員会を作っています。

■ 実行委員会は商業部会の6人が中心になっていますが、上野原青年会議所そして今年から上野原市観光協会にも協力してもらっています。

■ 実行委員会は、大枠の企画を考えます。チラシやポスター、うちわなど宣伝物も実行委員会で作ります。七つの会場は、それぞれの商店会や参加団体が工夫して店を出します。

■ 今年で22年目です。最初は青年部が行っていましたが、メンバーが少なくなってきたので実行委員会で取り



組むようになりました。

## 取り組んでみてどうですか

■ 私たちは商人ですから、人が集まることに喜びを感じています。それがパワーになっていきます。

■ 当日、どこにこんなにたくさんの方がいるのだろうと思うくらい人が集まって来てくれます。若い人が通りを歩いて、こんなところにあるお店があるんだと発見してくれるというのが嬉しいですね。

■ 毎年行っているものは、ほとんど変わっていないんです。それでも、普段できないことができるというので集まって来てくれるのではないのでしょうか。



■ 浴衣を着て写真を撮ろうという企画をもう10年もやっています。このごろ大勢浴衣着て来てくれるようになりました。

■ 幼稚園や保育園の子どもたちに短冊を書いてもらっています。子どもたちの記憶に残る七夕になればうれしいですね。

## 大変なことはなんですか

■ 最初は商店会も六つありましたが、今では四つになりました。加盟している商店も減少していますが、そんな中でもがんばっている

というのが現状です。

## 七夕ナイト

■ バザールに参加する商店のメンバーは20年前とあまり変わっていません。それだけ歳をとり、体力的にもきつくなりますね。

■ 「出店コーナー」で個人商店等に参加してもらい、にぎわいを継続する努力もしています。

■ 帝京科学大学の学生や上野原高校の生徒会やクラブの生徒にも手伝ってもらうようになりました。上野原高校からは30人くらいが来てもらっています。

■ 山梨中銀、山梨信金、都留信組にも協力してもらっています。

## 商店街の課題は何ですか

■ 後継者がいなくて、店を閉めることが多くなっています。私たちの年代以降の後継者がいないので、私たちが店を閉めれば、



商店街そのものがなくなってしまうのではと思っています。

■ 経営の見通しが厳しいので、継続していくこ

とが困難になっています。だから、引き継がないのです。

## 議会や行政に要望は

■ 商店街を残すには、新しい店舗を増やすことしかありません。そのために、空き家対策と同じように、空き店舗対策を考えてもらいたい。

■ もっと動いてもらいたいと言われても、自分の店の経営で手一杯という状況です。今来ているお客さんを守ることはできなくなっています。

■ 本格的な官民連携を考えていかなければならないと思っています。自分たちの祭で自分たちがにぎわいをつくることで、まちが残っていけると思います。そのために、行政と市民が連携することが大切だと考えています。



## 取材を終えて

事業者の高齢化や後継者不足、各種イベントへの対応人員の少なさ等々大変な課題を抱え厳しい現実の中で日夜力を注いでいることに感じ入りました。

空き家店舗対策など官民連携での取り組みの必要性や「将来に向けた街づくり」を熱く語られたのが強く印象に残りました。

## 総務産業常任委員会

閉会中の継続調査として、平成31年4月23日に、「四方津駅周辺バリアフリー化の状況と（仮称）談合坂スマートインターチェンジの状況について」の現地視察を行いました。

まず、四方津駅周辺のバリアフリー化ですが、国道20号線歩道の整備事業については、コモア入口の交差点から駅の入口までの間、約300mを国土交通省が行い、多機能トイレの設置や電車とホームの段差解消などの四方津駅改札内のバリアフリー化についてはJRが行う予定とのことです。

市が行うエレベーターの設置方法については、現在2案想定されており、歩道橋レベル・国道レベルの2層に出入り口を設置する案と、歩道橋レベル・国道レベル・駅改札レベルの3層に出入り口を設置する案があるが、現在は3層に出入り口を設置する案で検討を進めているとのことでした。

次に、（仮称）談合坂スマートインターチェンジですが、特徴としては、24時間供用で、ETC搭載車両（全長6m以下）専用、一旦停止型であること、東京方面・

名古屋方面ともに乗降可能であることが挙げられます。以前からの課題であった、相続が完了していない未取得用地については、共有者12名のうち、9名分については解決済みであり、残り3名の相続関係者132名の大部分の方達とは契約を締結したそうです。

また、これらの関係者から工事についての承諾を得る事ができたため、この4月当初から実際に工事を行っているとのこと。

今回視察した四方津駅周辺バリアフリー化と（仮称）談合坂スマートインターチェンジについて、それぞれ国や県、関係者と連携を密にし、四方津駅周辺バリアフリー化については、今後滞りなく事業を進めていくこと、（仮称）談合坂スマートインターチェンジについては、供用開始の最終期限を厳守することを強く要望しました。



## 議会活性化特別委員会

### 意見交換会を開催予定

前任期に引き続き、今年3月議会です。15名の議員が、議会の活性化について引き続き検討を重ねていきます。中でも、住民の声をどう生かしていくのが、大切な課題と考え、討議をしてきました。

人口減少が続く中、住民の声を自治体の意思決定に反映させるために、議会も住民のニーズを的確につかむことが欠かせなくなっています。

この委員会では、今後多くの課題に取り組んでいく予定ですが、その第一段として、市民の皆さまの生の声を聞きたいという総意の下、今回、意見交換会を11月に予定します。

この意見交換会の結果を検討しながら、その後の住民との意見交換の在り方についても検討していきます。

詳細については、市広報等で改めてお知らせしますので、より多くの市民の皆さまのご参加をお待ちしています。

## 文教厚生常任委員会



は、始めに  
生徒たちと

閉会中の継続調査として、「学校の教育問題について」上野原中学校と上野原小学校にて視察を行いました。  
始めに、上野原中学校に訪問し、特別支援学級1クラスを含めた6クラスの授業参観を行いました。  
教育委員会と中学校から、教員の多忙化への対策として、平成30年度から学校閉庁日を5日間設定したこと、勤務時間外は学校の電話を自動応答による対応にしたなど「上野原市教員の多忙化対策推進委員会」による取り組みを行っているとの説明を受けました。

一緒に給食をいただきました。その後、2クラスの授業参観をはさみ、教育委員会と小学校からの説明を受けました。  
生徒との関わる時間を確保するために、業務の効率化の面では、連絡事項・共通事項の確認はパソコンで行い、会議資料は、共有ホルダーに保存し時間短縮、ペーパーレス化を進めているとのことでした。

その他、給食費の集金等、改善を図るためには学校の努力だけでは難しい点も多く、委員会からは今後は市として、どういった面から援助するのか、その方法等、更なる議論を重ねていくことを要望しました。



## 議員全員協議会

上野原こども園土地取得関連の裁判について市から説明がありました。

4月10日 4月9日に「違法公金支出金返還等請求事件」で甲府地裁の判決が出て、上野原市が敗訴し、「重大な事実誤認がある」として、控訴することを検討していると報告されました。議会からの要求で判決文の写しが配られました。

4月25日 4月19日に控訴状を提出したことが報告されました。控訴理由書を提出した時には、議会にも写しを提出すると副市長が回答しました。

5月28日 5月7日に大成綜合法律事務所と代理人契約をしたことが報告され、着手金の支払と不動産鑑定業務委託料を専決処分をしたこと、成功報酬等の費用を6月議会に補正予算を提案したことが報告されました。控訴理由書の議会への提示については、「新たな弁護士と相談させてほしい」と前回の副市長の発言の修正がありました。

## 6月定例会 定例会で決まった 主なこと

令和元年6月4日(火)から6月19日(水)までの  
16日間の会期で開催されました。

### 審議された議案

市長提出議案	19件
請願	1件
計	20件

※ 議案名・議決結果等は15ページをご覧ください。

議案第55号 上野原市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

## 条例制定

### 介護保険料の軽減が拡大

従来、低所得者の介護保険料は、標準保険料よりも軽減する措置が取られてきましたが、本年10月以降の消費税率引き上げに関連し、介護保険料の軽減が拡大します。住民税の非課税世帯が対象ですが、所得により段階が区別されています。

第1段階	28、600円 ↓ 23、800円
第2段階	47、700円 ↓ 39、700円
第3段階	47、700円 ↓ 46、100円

いずれも、平成31年4月1日からの適用となります。

議案第56号 上野原市森林環境基金条例制定について

## 条例制定

### 森林環境基金条例が新たに制定

地球温暖化防止、国土保全、水源涵養など森林の有する公益的機能は国民に広く恩恵をもたらすものであり適切な森林の整備を進める必要から、「森林環境税（令和6年度より課税）」と「森林環境譲与税（令和元年度より譲与）」の法律が施行されることになりました。それに伴い、新たな財源となる森林環境譲与税を市内の森林の整備及び森林整備の促進に必要な事業の費用に充てるために条例を制定しました。

議案第64号 消防署用高規格救急車購入契約締結について  
議案第65号 消防団用ポンプ自動車購入契約締結について

## 契約締結

### 消防署用高規格救急車・消防団用 ポンプ自動車の購入契約締結

消防署用高規格救急車

山梨トヨタ自動車(株) 都留店（都留市）

3088万8千円

高規格救急車は、救急救命士が同乗して、高度な処置が行える資機材を積載しています。

消防団用ポンプ自動車

(有) 中村ポンプ工作所（甲府市）

1974万5千円

上野原市消防団巖分団に配備されます。

# 定例会で決まった主なこと

議案第48号 平成30年度上野原市一般会計補正予算（第8号）  
議案第54号 令和元年度上野原市一般会計補正予算（第1号）  
議案第59号 令和元年度上野原市一般会計補正予算（第2号）

## 補正予算

### プレミアム付商品券事業

10月から消費税・地方消費税引き上げに伴い、非課税者及び子育て世代の消費に与える影響の緩和と消費の喚起・下支えするため、プレミアム付商品券の発行・販売事業を実施します。

事業費（国庫補助事業） 2912万9千円

## 補正予算

### 地域おこし協力隊事業費

林業振興分野で1名を雇用し、北都留森林組合への派遣を通じて、林業の振興の支援活動について学んでもらい、間伐材の利用の推進を図る。

賃金・車両リースなど 262万5千円

## 補正予算

### 認定こども園費

上野原こども園の土地取得にかかる裁判の控訴審のための費用を計上。

弁護士着手金 216万円  
不動産鑑定業務委託料 134万4千円  
弁護士報酬金及び交通費 590万2千円  
駐車場使用料 1万3千円  
会議室使用料 4万4千円

発議第2号 まちづくり特別委員会の設置

## 発議

### 人口減少対策と市の活性化方策を調査・検討

人口減少対策と市の活性化のための方策を議会として調査・検討する必要があるから特別委員会の設置を決めました。

委員 議長を除く15人  
任期 2年間

委員長 小俣 修  
副委員長 八木 一雄

議案第66号 上野原市固定資産評価員の選任の同意について

## 人事案件

### 市固定資産評価員の選任

令和元年6月30日で固定資産評価員が退任するため、後任の同意を求めるものです。

上野原市固定資産評価員 佐藤 通朗 氏

請願第2号 国に対し「消費税増税の中止を求める意見書」の提出を求める請願

## 請願

### 消費税増税中止の意見書提出は不採択

10月からの消費税増税の中止を求める意見書を国に提出してほしいという請願です。消費税増税を中止を求める考えについて理解できるところもあるが、すでに市でも対応していることもあり、不採択としました。

## 文教厚生常任委員会

委員長 藤美智子  
副委員長 遠藤長召  
委員 尾形幸召  
委員 内田倫弘  
委員 八木一雄  
委員 川田好博  
委員 川島秀夫  
委員 山口好昭  
委員 山田喜巳夫

6月6日、委員会を開催し、付託された条例制定2件を審査しました。

議案第55号「上野原市介護保険条例の一部を改正する条例制定について」は、本年10月以降の消費税率引き上げに関連し、介護保険法施行令が一部改正されたため、上野原市介護保険条例においても一部改正を行うものです。

議案第57号「上野原市学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例制定について」は、令和元年7月1日より、上野原市立秋山学校給食センターを廃止することとしたため、条例の一部を改正するものです。

**説明** 秋山学校給食センター調理場では、平成29年4月から調理員の不足などの理由により休止となっており、四方津学校給食調

### 意見

理場から調理・配送を行っていました。これまで問題なく運営ができており、住民への了承を得られたことから、当調理場を廃止することとなりました。

今後、四方津学校給食調理場を、どうやって継続していくかが問題となってくる。臨時職員の給与を含め、方策を市へ求めていく必要がある。

当局提出の2案件については、いずれも全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。



## 総務産業常任委員会

委員長 本友栄  
副委員長 杉本純雄  
委員 白鳥雄  
委員 山口洋昭  
委員 東山修文  
委員 小本公喜  
委員 杉部幸重  
委員 岡部重

6月6日、委員会を開催し、付託された条例制定等4議案、請願1件を審査しました。

議案第56号「上野原市森林環境基金条例制定について」は、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の施行に伴い、徴収した森林環境税が定められた基準に基づき市町村へ森林環境譲与税として交付されることから、基金を創設し、条例を定めるものです。

議案第65号「消防団用ポンプ自動車購入契約締結について」は、条件付一般競争入札の結果、有限会社 中村ポンプ工作所代表取締役 中村巳春氏が、1974万5千円で落札し、本年4月26日に仮契約を締結したため議決を求めるものです。

**Q 財源は、5年ほどの購入時より、金額が上がった理由は。**

**A** 財源については、緊急防災

減災事業債で、充当率は100%です。また、金額が上がった理由としては、消費税率10%への上昇や、近年の資材等の高騰によるものです。

以上、当局提出の4案件については、いずれも全会一致で、原案どおり可決すべきものと決定しました。請願については、賛成少数で不採択とすべきものと決定しました。



## 予算特別委員会

去る6月4日の本会議において、付託された案件について、6月6日、委員会を開催しました。

付託された案件は、議案第59号令和元年度上野原市一般会計補正予算（第2号）と、議案第60号令和元年度上野原市介護保険特別会計補正予算（第1号）の2件です。

審査は、関係課に説明を求め、その後、質疑・討論・採決を行いました。

議案第59号について、歳入の主な補正は、国から按分された森林環境譲与税として1023万3千円、プレミアム付商品券事業費補助金を含む国庫補助金2572万8千円、財源調整としての繰入金2483万9千円を増額するものです。

歳出の主な補正は、民生費では、低所得者保険料軽減対応として社会福祉費1213万7千円、今回の住民訴訟判決に係る控訴に伴う弁護士費用等の認定こども園費595万9千円を増額するものです。

議案第60号は、歳入の主な補

正は、低所得者保険料軽減分として、一般会計からの繰入金1071万9千円等を増額補正し、それに合わせて同額の介護保険料を減額するものです。

歳出の主な補正は、同事業に伴うシステム改修を行うための一般管理費を141万8千円増額するものです。

以上、議案第60号については、全会一致で可決すべきものと決定しましたが、議案第59号については修正案が提出され、異議がありましたので、起立採決の結果、賛成多数で修正議決すべきものと決定しました。



## 上野原高校生が議会傍聴

## 市の課題を身近に感じる



6月13日の一般質問の時間に、上野原高校3年生の生徒24名が傍聴に訪れました。中部丘陵地域活性化協議会や学校教育の問題・教職員の勤務等についての質問や答弁を聞き、真剣にメモを取る様子が伺えました。



上野原高校 3年  
山口京介さん

今の上野原市があるのは、こういった方たちが、市のために考え話しあっている事がよくわかった。私たちに直接かわりのあるような話もしていて、考えさせられました。教職員の労働時間が10時間以上もあるという事を知った。上野原のこれからの事や今の現状についてなど様々な視点からの考えを伝え合いそれについて話し合う。上野原市をよりよい町にするため話し合っているのだとわかりました。傍聴してみても、やはり議会は自分たちの町を良くするために必要なことなのだと感じました。

## 魅力あるまちへの取り組みは



白鳥純雄

質問

地域活性化施設利用状況と、市内各施設の利用・活用効果を伺う。

答弁

地域活性化施設の平成30年度利用者は、観光情報の収集や、施設内で販売しているお土産購入などで1万126人が利用した。旧島田中、旧桐原小の各施設を撮影などに延べ154人が利用し、約416万円の経済効果と169万円の使用料収入がありました。

質問

立地適正化計画の状況と、今後のまちづくり計画の中に課題をどの様に取り入れて検討するのか伺う。

答弁

令和2年3月の完成に向け住民説明会、パブリックコメント、公聴会等を行い、他多くの意見を集約し、現実的計画となるように取り組んでいます。人口減少に伴う課題で人口密度の低下により都市機能の衰退、生活利便性の後退も検討しな



質問

から、誘導施設など市独自で取り組む課題について、策定懇話会等において検討していきます。

答弁

通学時の安全対策と、防災無線の運用についての取り組みは、関係機関で構成する通学路安全推進会議により、危険個所の現地点検調査、道路等の改善計画等、安全対策推進を図り、28か所の対策を行いました。防災無線の運用は、庁内関係課と競技を進めています。

他に、災害発生時の対応と活性化対策の現状について質問しました。

質問

甲府地裁は、旧病院用地の購入を決めた江口市長の判断は、権限の逸脱及び裁量権の乱用で違法。市は江口市長に5050万円を支払うよう請求せよ。との判決を出しました。その判決によれば、市は議会に説明し、土地購入額の根拠とした土地鑑定書を破棄し現存していない。と主張しているが、誰が破棄し、破棄への手続きは適正であったかを伺います。

質問

甲府地裁は、旧病院用地の購入を決めた江口市長の判断は、権限の逸脱及び裁量権の乱用で違法。市は江口市長に5050万円を支払うよう請求せよ。との判決を出しました。その判決によれば、市は議会に説明し、土地購入額の根拠とした土地鑑定書を破棄し現存していない。と主張しているが、誰が破棄し、破棄への手続きは適正であったかを伺います。

答弁

質問

答弁

鑑定書につきましては、今後の裁判の争点にもなりま

答弁

後、被告と言う立場で控訴しているの、誰が指示したのか答弁を求めます。

質問

市の文書管理規程によれば廃棄する場合、総務課長が所管課の合議を経て破棄し破棄目録を作るとされる。30年保存すべき文書管理の手続きについて質問しているので答弁を求めます。

答弁

文書管理規程は承知してい



## 上野原こども園に関する裁判について



杉本公文

質問

甲府地裁は、旧病院用地の購入を決めた江口市長の判断は、権限の逸脱及び裁量権の乱用で違法。市は江口市長に5050万円を支払うよう請求せよ。との判決を出しました。その判決によれば、市は議会に説明し、土地購入額の根拠とした土地鑑定書を破棄し現存していない。と主張しているが、誰が破棄し、破棄への手続きは適正であったかを伺います。

答弁

質問

答弁

鑑定書につきましては、今後の裁判の争点にもなりま

答弁

後、被告と言う立場で控訴しているの、誰が指示したのか答弁を求めます。

質問

市の文書管理規程によれば廃棄する場合、総務課長が所管課の合議を経て破棄し破棄目録を作るとされる。30年保存すべき文書管理の手続きについて質問しているので答弁を求めます。

答弁

文書管理規程は承知してい

上野原市の情報発信（SNSについて）



内田倫弘

質問

上野原市公式SNSページの種類は。

答弁

当市の公式SNSにつきましては、平成29年5月16日にフェイスブックとツイッターを開始しており、防災に関するフェイスブックとツイッターは平成29年12月1日に開始しております。

質問

各ページのリフォロワー数または「いいね」の数は。

答弁

令和元年5月31日現在で、フェイスブックのリフォロワー数は339人であり、「いいね」の数は298人です。また、ツイッターは361人です。近隣市町村と比較するとまだまだ少ない状況です。

質問

各ページの周知方法は。

答弁

市広報誌の広告欄で周知しており、市ホームページのトップ画面に公式SNSへのリンクを貼っております。また、過去に音声告知端末でも数回周知しております。



市のフェイスブックのQRコード

質問

市の配布物にQRコードを載せる周知方法もあるが、予算をかけずできるので、ぜひ検討してほしいが。

答弁

検討したいと思います。

質問

今後、フェイスブック、ツイッター以外の公式SNSページを増やす予定は。

答弁

インスタグラムを検討しております。インスタグラムは、画像や動画を手軽に加工でき、当市にある桜や花桃などの花の名所、桂川などの美しい水辺、八重山をはじめとした登山コースなどを配信し、当市の魅力を発信できればと思います。

がん検診率向上は  
埋立による土地開発は



尾形幸召

質問

75歳以上の胃がんの検診率が特に低下している。なぜなのか。

答弁

胃がん検診の75歳以上の対象者は3528人に対して受診者は304人で受診率は8・6%、肺がんが21・1%、大腸がんが17・0%、肝がんが16・6%で、胃がん検診が特に低い。この原因は検査時にバリウムを飲むこと、体位変化等の要因かと考えられますが、今後は負担の少ない施設検診での内視鏡検査を若年層も含め進めます。また、40歳以上のがん検診受診率の目標は肺がん46%、胃がん30%、肝がん46%、大腸がん50%、乳がん56%、子宮がん38%で、子宮がんの対象年齢は20歳以上です。

質問

丘陵地域一部分の埋め立てによる土地開発は。

答弁

計画の規模や内容については市の受付窓口があります。事業者の正式な書類提出がされておりませんので事前相談があれば内容に応じた指導要綱で対応します。

質問

中部丘陵地域活性化協議会が休眠・停滞状況となっているなぜか。

答弁

国の補助「先導的官民連携



## こども園土地取引裁判

### 元の文書を残すことが原則



川田好博

質問 2013年10月一般財団法人日本不動産研究所に不動産鑑定評価業務の委託契約は。

随意契約です。契約の履行期限はいつか。10月31日です。

質問 不動産鑑定評価書が市に提出されたのはいつか。

質問 10月31日です。

質問 10月31日です。

質問 契約の根拠は、地方自治法の何条か。

質問 第234条です。

この契約を含めて支出負担行為というが、法令に従って正しく行われたという認識でよいのか。

質問 その通りです。

質問 会計管理者にうかがうが、この支出負担行為に関して、支出命令が出され、それに基つき法令に則り正しく支出したという認識でよいのか。

質問 その通りです。

質問 会計管理者は、支出するとき、債務が確定しているこ



とが求められているが、鑑定書の提出を確認したか。

紙ベースのものは、現物を確認しています。

質問

市財務規則第27条には、証拠書類等を訂正する場合は、訂正したことがわかるようにと書かれていることに間違いはないか。

質問

質問

質問

元の文書は残されなければいけないと思うが。その通りです。旧鑑定書を破棄したというような市の証言が、判決文に書かれていること自体が重大な問題だ。

意見

## 教員の多忙化改善への取り組み

### 通園・通学路の安全確保



遠藤美智子

質問 教員の多忙化改善への取り組みと成果は。

①30年度から学校閉庁日を5日間設定②勤務時間外の外部からの問い合わせ対応に、電話の自動応答メッセージ機能を導入③月2日間部活動を休みとする「きずなの日」を設置等の取り組みにより、少しずつ多忙化の解消に寄与しています。

質問

現在、当市の学校給食費の会計処理は学校が独自に管理する私会計方式を採用しています。文科学省より「給食費の徴収・管理を地方自治体の業務として責任を負う。」との通知がありました。市の見解は。

教員の負担軽減の観点から、公会計の導入を検討する必要があります。と認識しています。最近、通学路等で子どもたちが巻き込まれる事故等が相次いで発生している。改めて、通園路や園外保育・

通学路等の危険個所の点検を行うべき。

質問

下校時の不審者の出没時の対応について、学校から警察へ連絡、そして保護者に一斉メールで注意喚起をするとのことですが、通学路への防犯カメラの設置について、市の考えは。

防犯カメラの設置の必要性は十分認識しています。まずは、学校施設内への設置検討を優先的に考えていきたいと思っています。

子どもたちの安全を考えると通学路は勿論、総合的に考えて、市内の歩行者の安全確保のために道路への設置も検討してほしい。

意見

意見

意見

意見

意見



将来の上野原のために今出来ること



山口 薫

質問

市内の情報通信の実態について、N・T・Tの光が使える地域は、上野原地区とコモアしおつ地区で、それ以外では使えないと聞くが、その原因は何か、使えるように要望しているか。

答弁

以前からN・T・T東日本に対し、サービスエリアの拡大について協議しています。今後も引き続き要望していきます。

質問

ます。

地球温暖化に伴う異常気象は、年々被害も大きくなつて来ており、上野原も例外ではありません。当局としても対策を講じるように決められているが、現在の対策について伺う。

答弁

上野原市環境基本計画の具体的な行動計画として、平成24年3月に第3次地球温暖化防止実行計画を策定し推進しています。

質問

市の焼却炉は耐用年数を過ぎていると聞くが、更新時に、ダイオキシン、CO<sub>2</sub>、臭い及び焼却灰が出ず、ゴミを燃料化出来るという「ゴミ処理施設(RDF)」を取り入れてはどうか。

答弁

焼却炉は既に耐用年数を過ぎ修繕しながら使用しています。焼却施設の更新は、県のゴミ処理広域化計画との関連もありますが、ゴミの燃料化、施設の候補地、予算等も含め検討して行き



最近の学校問題

危険通学路・登下校時の対応



川島 秀夫

質問

危険通学路、特に西中学校国道20号について。

答弁

危険通学路、特に国道20号については、市内児童生徒がより安心して通学できるよう安全対策を推進、通学路安全推進会議が、四方津から松留間を重点採択箇所位置付けています。道路所管の国土交通省に対応してもらっていて、昨年は、厳こども園前の20号カーブを見通し良くするとともに歩道を設置した道路改良を行いました。今後も引き続き安全推進会議を通じて安全対策を働き掛けていきます。また、当該道路使用の西中学校での安全対策指導を行い、注意喚起を行っていきます。

質問

小学生の登下校時の対応について、最近の多様な児童被害防止対応はできているか。

答弁

不審者などの対応につい



ては、学校では日頃から児童に注意喚起を行っていますが、保護者にはメール配信を行って協力を仰いでいます。スクールガードリーダーや専門交通指導員や地域の方々に登下校時間を知らせ、見守り活動を行っていただいています。今後は、広報誌や防災無線の活用等を通じ、下校時の地域見守り活動の協力依頼を協議していきたいと考えています。

他に、コモア北側道路新設、ブリッジについて質問しました。

上野原こども園土地購入に関する  
1 審の甲府地裁判決について



東山洋昭

質問

この裁判は住民である原告が、上野原こども園の土地購入金額が適正価格を越え、市に損害を与えた為に、市長江口英雄氏に対し約五千万円の請求等を求める住民訴訟を起こしたものだ認識しているが。

答弁

市は18回にわたる口頭弁論で、当地の売買については測量・調査を実施した上で不動産鑑定士の鑑定評価に基づいて売買金額を決めています。何ら瑕疵のないものであると主張してきましたが、今回の判決に対し、判決内容に事実と異なる点が多々見受けられ、到底容認できない為、市の主張である正当性が東京高等裁判所に認められるよう、全面勝訴に向け進めています。

意見

この土地の平成25年の国土交通省の出した公示価格は約2億8千万円です。これが指標となり、国税庁の路



線価はその80%で計算を出し、その数字が約2億2千6百万円、市の固定資産評価額が約2億円です。一般的に固定資産評価額よりも安く、また相続税を算出する根拠の路線価より安く売ることにはないと思います。なぜ路線価や固定資産評価額よりも著しく安い鑑定評価を採用し、正常価格で売買すべきだったとの判決は、私には理解ができません。他に、市と商工会、市の情報発信の施策について質問しました。

平成31年第1回定例会議決結果等一覧表(訂正)

【お詫びと訂正】 議会だより57号15ページ「平成 31年第1回定例会議決結果等一覧表」賛否のあった議案で誤りがございました。訂正してお詫び申し上げます。

◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者 討論は、委員長報告に対する賛成・反対です。)

議案番号	案 件 名	付託委員会	内田倫弘	八木一雄	山口 薫	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	東山洋昭	小俣 修	川島秀夫	杉本文	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果
5	市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務産業	○	○	○	○	○	●	○	○	○	◎	○	議長	○	○	○	○	原案可決
6	市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例制定について		○	○	●	○	○	○	○	○	○	◎	○		○	○	○	○	
7	消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整理に関する条例制定について		○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
8	学校施設及び公民館使用に関する使用料条例及び市営運動施設条例の一部を改正する条例制定について	文教厚生	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
9	緑地等利用施設条例の一部を改正する条例制定について	総務産業	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
10	市立上野原スポーツプラザ市民プール条例の一部を改正する条例制定について	文教厚生	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
24	平成31年度一般会計予算	予算特別	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	◎	○		○	○	○	○	不採択
25	平成31年度国民健康保険特別会計予算		○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
26	平成31年度後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
27	平成31年度介護保険特別会計予算		○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
請願1	各議員の選挙公約の公開についての請願	総務産業	●	●	○	●	●	◎	●	●	●	◎	○	●	●	●	●	●	不採択

## 令和元年第2回定例会議決結果等一覧表

### ◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者)

議案番号	案 件 名	付託委員会	※	内田倫弘	八木一雄	山口 薫	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	東山洋昭	小俣 修	川島秀夫	杉本公文	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果
54	専決処分の承認を求めることについて (令和元年度上野原市一般会計補正予算 (第1号))	—	—	○	○	●	●	○	◎	○	●	◎	◎	○	議長	○	◎	○	○	承認
59	令和元年度上野原市一般会計補正予算 (2号) 予算特別委員会修正案	—	—	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	○		○	○	○	○	可決
	令和元年度上野原市一般会計補正予算 (第2号)	予算特別	—	○	○	●	●	○	◎	○	●	○	◎	○		○	○	○	○	可決
請願2	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書	総務産業	報告 原案	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●		●	●	●	●	不採択

※ 委員長報告と原案が異なるものです。討論は、委員長報告に対する賛成・反対です。

### ◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案 件 名	結果
48	—	専決処分の承認を求めることについて(平成30年度上野原市一般会計補正予算(第8号))	承認
49	—	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算(第5号))	
50	—	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号))	
51	—	専決処分の承認を求めることについて(平成30年度上野原市介護保険特別会計補正予算(第5号))	
52	—	専決処分の承認を求めることについて(上野原市税条例等の一部を改正する条例制定について)	
53	—	専決処分の承認を求めることについて (上野原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について)	
55	文教厚生	介護保険条例の一部を改正する条例制定について	原案 可決
56	総務産業	森林環境基金条例制定について	
57	文教厚生	学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例制定について	
58	総務産業	火災予防条例の一部を改正する条例制定について	
60	予算特別	令和元年度上野原市介護保険特別会計補正予算(第1号)	受理
61	—	平成30年度上野原市継続費繰越計算書の報告について	
62	—	平成30年度上野原市繰越明許費繰越計算書の報告について	
63	—	平成30年度上野原市事故繰越し繰越計算書の報告について	原案 可決
64	総務産業	消防署用高規格救急車購入契約締結について	
65	総務産業	消防団用ポンプ自動車購入契約締結について	同意
66	—	固定資産評価員の選任の同意について	

※「—」は委員会付託が省略された議案です。

※ 正式な議案名から(上野原市)を省略してあるものもあります。

# 市民の声

## ヨガとストレッチ

ヨガインストラクターとストレッチトレーナーになって5年になります。この5年間で上野原の市民の方々に公民館事業の方で関わらせて頂き、毎年少しずつ参加者も増え、体への関心がとても強くなってきているのを肌で感じます。また、幼稚園でもキッズヨガの授業に関わらせて頂いていますが、近年、身体の硬さがとても問題にもなっています。

幼い子からシニア世代まで、パソコンやスマホなど電子機器に溢れ、前傾姿勢が身についてしまっている人が多いです。世代は様々であっても、筋肉は必ず回復しますし、膝が痛かった方も体操を続け半年後には、山登りできるまでになりました。簡単な体操でも続けていけば必ず体は改善していくという事を多くの方に伝えていきたいと思います。

これからもストレッチやヨガを通して市民の方々と楽しく、ふれあい上野原に貢献させてもらえたら嬉しいです。



佐藤 早代さん

## 9月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
9/1	2	3 本会議 (初日) 傍聴可	4 議案調査	5 委員会 予算特別 総務産業 文教厚生	6 議案調査	7
8	9 委員会 決算特別	10 議案調査	11 委員会 決算特別	12 議案調査	13 委員会 決算特別	14
15	16 敬老の日 傍聴可	17 一般質問 傍聴可	18 一般質問 傍聴可	19 一般質問 (予備日) 傍聴可	20 議案調査	21
22	23 秋分の日 傍聴可	24 本会議 (最終日) 傍聴可	25	26	27	28

## 議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

## 託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局（62-3344）へお申し込みください。

議会だよりのQRコードです



## 編集後記



待ちわびていた夏とはいえ、近年は記録的猛暑日が続く、観測史上過去最高の言葉を良く耳にいたします。日本各地で起きている豪雨災害や、世界的に起きている異常気象も地球温暖化が原因の一つと考えられます。未来を考え一人一人が出来ることを実行し、より良い環境や社会を次の世代へつなげて行きたいものです。統一地方選挙も一段落し新たに4年が始まりました。一つの時代を結び、未来へつなぎ結ぶ。今日より明日が、少しでも良い社会になることを期待します。誰もが幸せに暮らせる世の中(時代)になるために、議会活動に取り組みます。(白鳥)

議会だより編集常任委員会

委員長 川田 好博  
副委員長 白鳥 純雄  
委員 内田 倫弘  
委員 八木 一雄  
委員 山口 薫  
委員 遠藤美智子